

【2022-23 年度（井川・宮島）】

R 情報・会員選考・職業分類(R Info./Selection/Classification)委員会

R 情報・会員選考・職業分類 委員長 泉谷 聡
副委員長 松島 勲
委員 北見 圭一 積田 優

R 情報・会員選考・職業分類 委員会 予算 ￥ 120,000-

R 情報・会員選考・職業分類委員会の任務

詳細は、年度計画欄記述の通りですが、当委員会は 3 年委員会が望ましいと云われており、直近の会長経験者を加えて構成しました。当クラブにおいて今後議論の機会を作りたいと考えています。

R 情報・会員選考・職業分類委員会の年度計画

本委員会は、当クラブ定款細則第 9 条第 2 節 b 項に定められた、R 情報と職業分類及び会員選考の 3 委員会を統合した組織ですが、'19 年の規定審議会において、「クラブの構成を改正し職業分類の制限を廃止する件」が採択されたため、委員会名を上記に改称し、各委員会の年度計画を掲げ、職業分類に関しては最新情報を記載します。

1. R 情報

あらゆるレベルのロータリーの歴史・目的・活動・標語や綱領などロータリーに関する基礎知識と情報、RI 会長及び RI の各部門、R 財団と米山奨学会、地区各部門等より発出された情報を会員に分かりやすく速やかに提供します。

入会 3 年未満の会員を対象に、

1. 新会員の入会前オリエンテーションを実施します。
2. 推薦者をカウンセラーに委嘱し、新会員の支援を行い、インクルージョンします。
3. 研修会（インフォーマルミーティング）を開催し、クラブ内外の講師を招聘し、ロータリークラブ会員の特典と責務、奉仕の機会に関する情報を提供します。
4. 他クラブ例会メーキャップ実践講座を開催します。
5. DEI について研究し、最新情報を例会等において発表します。
6. 会員の RLI 研修会への積極的参加を支援します。

2. 会員選考

会員に推薦された新会員候補者の入会申込書の内容を審査します。

そのうえで、ロータリアンとして、また当クラブ会員としての人格、職業上及び社会的な地位ならびに一般的な適格性を審査します。

その際、有意義な事業の基礎としての奉仕の理念を奨励育成するというロータリーの目的に掲げる各項に照らして検討し、その結果を理事会へ報告します。

3. 職業分類

本年度当クラブは会員増強目標を 10 名としています。地域社会の職業分類調査を行い、その調査から当クラブの職業分類の空白欄をチェックするとともに、近年新分野の職業も創出されており、必要に応じ現会員の職業分類見直しを含めた整備を図ります。

★職業分類について

《標準ロータリークラブ定款 2019年度改正（抜粋）》

第9条 クラブの会員構成

第1節 — 一般規定。各会員は、その事業、専門職務、職業、または社会奉仕に従って分類されるものとする。職業分類は会員の会社、企業、団体の主要かつ一般世間が認めている事業活動を示すものか、本人の主要かつまた一般世間が認めている事業または専門職務を示すものか、本人の社会奉仕活動の種類を示すものとする。理事会は、会員が役職、専門職務、または職業を変更する場合、会員の職業分類を修正することができる。

第2節 — 多様なクラブ会員基盤。本クラブの会員基盤は、年齢、性別、および民族的多様性を含め、地域社会の事業、専門職務、職業、および市民組織の多様性を表すものであるべきである。

2019年7月から職業分類の制限が廃止されました。職業分類という言葉は残っているものの、職業分類による入会制限は完全に撤廃されました。職業分類制度を廃止して、社会に何らかの貢献している人ならば、誰でも入会できるようになりました。職業を持たない家庭の主婦、無職、退職者でも、何らかの形で社会に貢献している人が入会可能になりました。然し「多様性を推進するような均衡のとれた会員校正」も採択されたので、多様性を維持することが前提であることに変化はありません。